

授業展開例（家庭）

1 学 年 第1学年

2 科目・題材 「家庭基礎（高齢者の福祉）」

3 題材について

本題材は、高齢者の生活に重点を置きながら、事例の検討を通じて高齢者福祉に関する法律や制度の趣旨・概要を取り上げ、あわせて社会福祉サービスや高齢者福祉施設の役割や現状をまとめることで、「私たちは人との関わりの中で生活している」という認識が深まることを目指す。

検討の成果について専門家から指導を受けることにより、正しく判断する力と情報を管理する能力を高め、生活課題を主体的に解決しようとする態度を養わせたい。家庭において適切に健康管理を行うことができ、また、社会の一員として介護に関する肯定的な認識をもてるよう理解を深めさせたい。

本題材においては、「社会福祉に求められているもの」に関して意見交換を行う。事例としては町づくりを取り上げ、情報を活用して課題を解決する道筋を大切にしたい。そして、学習過程については、教師からの指示や発問を半減させた上で、他の生徒との意見交換を基に、自らの力で課題の解決に取り組む展開となるよう工夫したい。

次に、この学習を受けて、「誰もが安心した生活を送るためにはどのようなことがらが必要なのか」を自らまとめ、その結果を学習ボランティアによる社会福祉の現状に関する講義と照らし合わせることで、生徒の認識をより確かなものにしたい。

さらに、社会福祉に対する自己のあり方を見つめ直し、より確かな追求意欲を引き出すためにも、実践的な実習（車いすの利用方法、高齢者体験の実践）を取り入れ、家庭で介護が必要な場面で積極的に関わることのできる態度の育成を目指す。

4 題材の目標

【普遍的視点】

共生

- ・在宅介護の趣旨と概要を理解し、適切な介護の方法を理解するとともに、社会福祉に対する自己のあり方についての認識を深める。

【人権課題】

高齢者

- ・テーマに沿って材料を集め、論理的な構成を工夫して、専門家の方から正確に情報を聞き取り、高齢者の生活や福祉の重要性を関連付け、図表に示し、表現できる。

5 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none">・高齢者福祉に関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢がある。・他のグループの発表に関心を持ち、高齢者福祉の必要性について考え、積極的に関わろうとする態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">・高齢期の生活を安心して営むために必要な条件を考えることができる。・テーマに沿った適切な材料を収集し、考察を加えることができる。・学習内容を的確にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none">・専門家の意見を参考に地域の実態や介護を支える適切な関わり方を身に付けている。・専門家のアドバイスをもとに、介護技術の基礎を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none">・テーマに沿って必要な条件をまとめ、地域の実態や介護を支える技術と関連付けて理解している。・専門家の意見を正確に聞き取り、健康と介護の重要性を説明できる。

6 指導と評価の計画（全7時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1次	<p>高齢者の生活(2)</p> <p>1 高齢者の経済生活</p> <p>2 高齢者の社会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年退職後の家計の収支を想定し事例研究をまとめる。 ・地域の高齢者の活動や三浦敬三氏の著書から生きがいについて考える。 					<ul style="list-style-type: none"> ・事例の内容に関心をもち意欲的にまとめ、要旨をつかもうとしている。 ・高齢者の経済生活の特徴を理解できる。 ・社会参加の重要性を把握し、その特徴を理解している。 	<p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>課題の提出</p>
2次	<p>高齢者の健康と介護(2)</p> <p>1 健康の維持</p> <p>2 寝たきりと老人性痴呆</p> <p>3 在宅介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身体的機能の低下を体験し、できていたことができなくなることでどのような気持ちになるのかを考える。 <p>...本時</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の生活を安心して営むために必要な条件を主体的に考え、確にとらえることができる。 ・考えた条件について、グループで検討し、意見交換し発表できる ・検討した内容について、専門家の意見を参考に再度、考察を深めることができる。 	<p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>課題の提出</p> <p>レポート提出</p>	
3次	<p>高齢者の健康と介護(3)</p> <p>1 寝たきりと老人性痴呆</p> <p>2 在宅介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅で寝込んでいる、祖母にどのような支援が出来るかを考え、今後の生活にいかす。 				<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の意見を正確に聞き取り、介護の重要性を的確にとらえることができる。 ・家族に必要な介護を考え、介護の在り方について考察を深めることができる。 ・学んだことを今後の生活にいかせるようテーマに沿って自分の考えを文章にまとめることができる。 	<p>行動観察</p> <p>発表</p> <p>課題の提出</p> <p>レポート提出</p>	

（表記について： は重点評価項目とする）

7 本時の目標

- ・ 高齢者の身体的機能の低下を体験し、できていたことができなくなることでどのような気持ちになるのかを考える。

8 学習の展開 <本クラスは2時間続きの授業のため100分の展開例とする>

	学習内容	指導上の留意点	評価規準	評価方法
前時導入 10分	<p>起立・礼・出席確認 宿題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門技術指導の講師紹介 ・宿題から社会福祉協会に関する内容を再度確認する 	<p>社会福祉協会の活動を通観することを予告しておく</p>		<p>課題の提出</p>

<p>前時展開 40分</p>	<p>あなたは福祉と聞いてどのようなイメージを持っていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉のイメージを語り合う <p>なぜ、このようなイメージを持ったのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマに沿って専門家の方から正確に情報の聞き取りを行う 地域の社会福祉の支援状況や活動の内容を聞き取る <p>みなさんが考えたことをまとめてみよう</p> <p>【ノーマライゼーション】</p> <p>できたことができなくなることで、どんな気持ちになるか考えてみましょう</p>	<p>福祉へのイメージを大まかにとらえさせる</p> <p>講話の中から、正確に情報を聞き取り社会福祉協議会の介護のありようを大まかにとらえさせる</p> <p>社会福祉に必要な支援の基本理念を大まかにとらえさせる</p> <p>安心して生活することの大切さを大まかにとらえさせる</p>	<p>B：専門技術指導者から情報を聞き取り、講話の内容をまとめられている。</p> <p>B：福祉支援にはどのような内容が求められているかまとめられている。</p> <p>B：福祉支援にはどのような基本理念が求められているかまとめられている。</p>	<p>行動観察 発表</p> <p>課題の提出</p> <p>課題の提出</p>
<p>【休憩10分】</p>				
<p>本時 40分</p>	<p>高齢者の疑似体験をしてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> 疑似体験の内容について実際に提示を受け、実践する <ol style="list-style-type: none"> 1 右手に手袋をする 新聞をめくる お金を拾う 2 イヤーパッド 聴力の確認 3 白内障設定めがね 標識を見る 新聞を読む <p>高齢者の疑似体験をして、どのような気持ちになったでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマに沿って専門家の方から正確に情報を聞き取り、自らの生活に置き換えながら考える。 <p>これらの気持ちを和らげるためには、どのような試みが求められているでしょうか</p> <p>【バリアフリー】</p>	<p>提示された実習に積極的に行動できるよう予告する</p> <p>社会福祉に必要な支援の基本理念を大まかにとらえさせる</p>	<p>B：自分が体験してみて、自分なら何をしてほしいかを表現できる。</p> <p>B：福祉支援にはどのような基本理念が求められているかまとめられている。</p>	<p>行動観察 発表</p> <p>課題の提出</p>

本時 まとめ 10分	本日の学習をまとめよう		B：学習ボランティアから情報を聞き取り、本日の講話の内容をまとめられている。	課題の提出
	本時の目標を確認する 次時の予告をする 次時の学習課題を予告する 起立・礼	本時の目標を再度見直すよう誘導する		レポート提出

〔引用・参考文献〕 文部省（平成12年）、『高等学校学習指導要領解説 家庭編』開隆堂出版
神辺町社会福祉協議会 パンフレット

9 授業後の感想から

生徒の感想を見ると、思ったことやわかったこと、質問したいことなどがあふれている。また、具体的に福祉のイメージを提示できたことで、福祉に関する自己の想いと、社会福祉の基本理念とを結びつけた学習のまとめをすることができた。

学習ボランティアの具体的な講話を伺えたことは、机上の学習だけでは得られない貴重な成果をもたらした。校外の方とのふれあいを通じて（知的理解にとどまらず）「体感」できたことで、自己の生活や経験に当てはめながら、「私たちは人との関わりの中で生活している」という実感を深めることができた。

さらに、生徒のレポートから「その人の思いになって考えることが大切だと改めてわかった」、「今以上に人のことを真剣に考えることができそう」などといった自己のあり方を再確認する感想も出されている。今後の学習においてこの想いをさらに生かしていきたい。

